地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2017
5月
No.36

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

「小児救急医療の最後の砦」

小児救命救急センターの指定を受けました!

県立尼崎総合医療センターの“新しい顔”

今年もフレッシュな25人の研修医の皆さんから自己紹介を!

● [AGMC 新たな診療の取り組み] 新しい院内サポートチームが、設置されました!!
●スタッフのつぶやき　●ぶらり～っと病院探訪

「小児救急医療の最後の砦」
小児救命救急センターの指定を受けました！

県立尼崎総合医療センターは、平成29年4月1日に兵庫県知事から「小児救命救急センター」の指定を受けました。これは全国で13施設目となり、近畿地方では初の指定となります（兵庫県立こども病院と同時指定）。

その指定要件は、
①診療科を問わず、すべての重篤な小児救急患者を24時間体制で必ず受け入れること
②小児集中治療室（PICU）を6床以上整備していること
③小児救急医療の臨床教育の実施を行うこと
などです。

当センターでは、開設時に8床のPICUを設け、小児救急・集中治療体制の整備とともにあらゆる重篤小児患者の受け入れに取り組んできました。さらに、周辺医療機関との連携を構築する中で、ドクターカーを活用した**当院小児救急スタッフ**による“迎え搬送の体制”を整えています。また、小児救急医療に関する医師、看護師、救急救命士への卒前卒後の教育も小児救命救急センターの役割の一つです。

開院以来、地域の小児救急医療の最後の砦となるべく体制の整備に取り組んできましたが、その努力がこのような形で認められたとかんがえて思っています。今後も阪神圏域のみならずより広域の皆様に安心して医療を受けていただけるよう、その充実に取り組んでいく所存です。

小児救命救急センター長
毎原 敏郎

小児救急集中治療科
菅　健敬

左から：加藤医師、山上医師、原医師、金医師、永井医師、菅医師、高原医師、河内医師

県立尼崎総合医療センターの“新しい顔”

今年もフレッシュな25人の研修医の皆さんから自己紹介を！

飯田 尚樹
出身 滋賀県
中学から大学まで野球をしていました。慣れない土地ですが、甲子園など尼崎ライフをエンジョイしたいと思います！

岩井 優依
出身 西宮市
台湾と日本のハーフですが、生粋の日本育ちで、これからも大好きな兵庫でがんばります！ちなみに台湾語も中国語も話せません。

桂川 広幸
出身 京都市
父が尼崎出身なので幼い頃からよく訪れていました。この地で医師としての人生を始められることにワクワクしています！

塩見 悠真
出身 吹田市
大阪で育ちましたが、関西弁が下手と言われます。ここ尼崎で上達することを目標にしつつ一生懸命頑張ります！

髙見 洋太郎
出身 神戸市
6年間、阿波おどり県で過ごして帰ってきました。背は高いですが、患者さん目線の医療を心掛けます！

多田 周平
出身 加古川市
生まれ故郷の兵庫に帰ってまいりました！播州弁が抜けた分も尼崎にどっぷり浸かりたいと思います。尼崎サイコー！

中山 直人
出身 広島県
もみじまんじゅう県生まれ、うどん県や明石焼き県を経由し、今年から尼崎でお世話になります！日々精進、頑張ります！

野谷 梨紗子
出身 堺市
6年間宮崎で過ごし、関西に帰ってきました。宮崎が好きです。でも関西はもっと好きなので、貢献できるよう頑張ります。

福井 由美
出身 芦屋市
京都で大学生活を送り兵庫に帰ってきました。モットーは笑顔、気合い、メリハリ！ニコニコ元気に日々成長していきます！

松本 承大
出身 滋賀県
高校では柔道, 大学では剣道と武道をしてきました。これらで身につけた体力、精神力を存分に発揮し頑張りたいと思います！

本村 悠馬
出身 神戸市
神戸の北の町でバッタとスズメに囲まれて育ちました。いつか奈良公園でホルンを吹くのが夢です。視野を広く持って、色々なことに挑戦していきたいです！

水野 友香子
出身 神戸市
兵庫県出身です。大学の近くにあった日本最大の湖の様に、患者さんに安心感を与えられる医師を目指し日々努力していきます！

赤澤 明香
出身 神戸市

小4まで香川で育ちましたが、神戸出身と言い張っています。大学6年間で山陰の子と化しているので、早く関西になじみたいです。

清水 麻里奈
出身 神戸市

バレーボール部でした。どんな時も明るくレシーブし（受け止め）に駆けつけます！！！

新藏 秋奈
出身 京都市

たくさん運動してたくさん食べること、それが一番の幸せです。尼崎は初めてですが一つ一つのことに真摯に向き合いたいです。

曽我 聡之
出身 宇治市

25年間生まれ育った古都京都を離れ、AGMCへ来ました。宇治抹茶への感謝の気持ちは忘れず精一杯がんばりたいと思います。

高田 悠司
出身 神奈川県

趣味はギターです。関西弁を喋れるように日々精進しております！よろしくお願いします！！

橋本 航太
出身 西宮市

目が前についているのは、前へ前へと進むため！一歩ずつでも成長できるよう頑張りたいと思います。

花井 香穂
出身 和泉市

神戸大学出身です。カレーとつけ麺をこよなく愛しています。美味しいお店をご存知の方はご一報ください。

花畑 佑輔
出身 神戸市

阿波踊りで有名な徳島から地元に戻ってきました。踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損々。向上心を持って！意欲的に！

濱本 龍典
出身 うどん県

松岡修造みたいに熱いハートを持って患者さんに向き合いたいと思います！
「寒いのか？心が寒いんじゃないのか？」

兪　沙英
出身 神戸市

長所はポジティブ、短所もポジティブ。歩くより走るのが好きです。目標はフルマラソン完走！

緒方 真麻
出身 伊丹市

ビスカッチャという生き物に似ていると言われます。が、いまだ出会ったことがありません。いつか会いに行くのが私の夢です。

萩本 裕樹
出身 尼崎市

京都で大学生活を送り、地元尼崎に戻ってきました。患者さんに寄り添い、不安や悩みを一緒に解決できるよう精一杯頑張ります！

山城 裕輝
出身 神戸市

生まれてから関西一筋！この街の美味しいもんを食べ続けるために、歯磨くで〜。必死のパッチで頑張ります！

急性血液浄化サポートチーム

AGMC 新たな診療の取り組み

【急性血液浄化
サポートチームの設置】

新しい院内サポートチームが、設置されました!!

血液浄化のことなら、なんでも相談して下さい！ラウンドは、毎週金曜日！

チームの紹介・特徴

急性血液浄化療法とは、血液中に存在する病因物質を除去、もしくは不足している物質を補うことで、血液のバランスを整える治療のことを指します。
急性血液浄化サポートチームは、院内の各集中治療室（EICU、GICU、PICU、CCU）における急性血液浄化療法が、できる限り安全かつ効果的に行えるよう、それぞれの専門性を発揮し、チームでサポートしていきます。

チームの構成メンバー

診療部（腎臓内科、救急科、循環器内科、小児救急科、心臓血管外科、麻酔科）、臨床工学士、薬剤部、看護部

チームの活動内容

現在院内には複数の集中治療室（ICU）があり、持続的腎機能代替療法をはじめとした多数の急性血液浄化療法が施行されています。その主な対象疾患は急性腎傷害ですが、敗血症や心不全、肝不全、代謝障害など多臓器にわたる集中治療において幅広く行われます。しかしながらその適応やタイミング、施行方法に関しては未だに明確なエビデンスが乏しく、標準化されているとはいえません。
また、重症患者様に体外循環を行うこと自体に様々なリスクがあり、医療安全面での対策も重要です。
急性血液浄化サポートチームは、週1回のラウンドを行い、それぞれの立場を超えて急性血液浄化を安全かつ効果的に、重症患者様の治療に役立てるべく活動しています。

回診2

チーム代表者名　竹岡浩也
急性血液浄化サポートチーム長　腎臓内科科長

持続的腎機能代替療法（CHDF）

回診3

スタッフのつぶやき

試行錯誤の日々ですが、楽しい毎日です！

和気あいあいとみんなで作るホームページ

総務部 総務課　武藤有希

こんにちは！
病院のホームページやフェイスブックを担当しています総務課の武藤です。

私は、日々更新される病院の情報やお知らせ、働くスタッフのプロフィールなどをホームページへ掲載したり、新サイトの立ち上げやデザイン変更等に関わる会議に携わり、よりよいホームページになるよう日々試行錯誤しています。毎日、医師や看護師さん、事務の方がホームページのことで尋ねに来てくださり、とても楽しくお仕事をさせていただいています！

また、毎月開催される広報委員会にも出席し、病院の広報についてたくさんの先生方や事務の方々と関わっています。委員会のメンバーは、副院長先生や各診療科長の先生方などベテランの錚々たるメンバーですが、和気あいあいととても和やかな雰囲気ですよ^^

普段は、管理フロアの総務部でお仕事をしています。私の席の周りには総務部の綺麗どころが揃っておりますのでぜひ覗いてみては？♪

今後も、ホームページはさらなる変化を予定しておりますので、どうぞお楽しみに！！(*^^*)

ぶらり～っと病院探訪

お洒落な外観、尼崎総合医療センター内「LAWSON」

今回は病院内にあるコンビニエンスストア『LAWSON』を伺ってみました。
当センターの『LAWSON』は、北玄関の入り口の左手に店舗があり、病院の雰囲気に合うように、お洒落な茶色の木目調のデザインを基調としているので、一層お洒落な外観です！

（店舗によってデザインを変えているのは、“『LAWSON』トリビア”だそうですよ！）

院内の『LAWSON』と街中にある店舗って何が違うの？

街中にある店舗とは違い、病院の中にある『LAWSON』なので、主なお客さんである入院患者さん、外来患者さん、病院職員等のニーズにお応えできるように、日用品、医療用品、介護用品などを取り揃えてくれています。例えば、患者さんのニーズに対しては、当センターの診療科と品揃えを検討し、寝衣、絆創膏、眼帯、オムツ、転倒防止用運動靴、脱毛ケア用帽子などの商品を取り揃えてくれています。そのため、緊急入院となり、日用品、介護用品などが急遽必要になった場合でも、安心して入院生活が過ごせそうです。また、子どもさんの入院生活の気分転換になるような玩具も販売しており、お客様の声を参考に、必要な商品を揃えてくれています。「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」という『LAWSON』の企業理念のもと、病院内にある『LAWSON』スタッフのみなさんも、誠実に思いやりのある対応ができるように、力を合わせて頑張ってくれています。季節に合わせたアメニティの工夫もされており、店長さんの最近のおすすめは、「揚げたてのファストフーズ」です！

編集後記

ゴールデンウィークも終わり、いよいよ新緑の季節となりましたネ。新しい職場に赴任された方も、また、社会人として新しい一歩を踏み出した方も、新しい環境に慣れられたでしょうか？尼崎総合医療センターも開院からもうすぐ2年を迎えます。2期工事も終了し新病院としての体裁が整い診療機能も安定・充実してきたところで、これからは、質の高い医療の提供と地域から信頼される病院となることに務めたいと考えます。　（H.S.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社